かさい 教育 ねっと

(2019.10.1 発行)

特集号

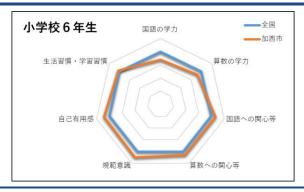


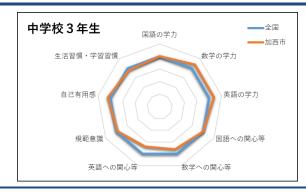
1 全国学力・学習状況調査について

本調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象とし、学力と学習状況の両面から行われています。そして、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、市内全校における学習指導の充実や学習状況の改善等に役立て、義務教育の機会均等とその水準の維持向上を目指しています。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。

本年度より、教科に関する調査として、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問うという出題形式で調査が行われました。また、中学校英語については、スピーキング「話すこと」のテストも実施されました。さらに、生活習慣や学習習慣等に関する児童生徒の質問紙調査も実施されました。

2 加西っ子の学力・学習に関する状況について — 「教科・質問紙調査」 結果から-



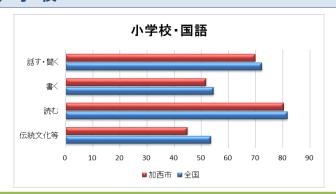


全国平均との比較から、小学校は「低い・やや低い」、中学校は「同程度、やや高い」数値を示している

加西っ子の学力・学習の状況は、小学校では、学力については全国平均と比べて、国語は「低い」、算数は「やや低い」数値を示したものの、学習に関する意欲、関心については、「やや高い」傾向を示した。中学校では、学習に関する意欲、関心は「やや低い」ものの、学力については全国平均と比べて、国語は「同程度」、数学、英語については、「やや高い」数値を示した。

※学力の状況については、各教科・領域ごとに加西市と全国の平均正答率の比較によって把握しています。平成 29 年度より公表する点数の整数化に伴い、全国とのポイント差が「 $\pm 0 \sim 1$ 」を「同程度」、「 $\pm 2 \sim 3$ 」を「やや高い・やや低い」、「 $\pm 4 \sim$ 」を「高い・低い」と表しています。

小 学 校



定着傾向が認められた項目・問題例

◇目的に応じて、文章の内容を的確に押さ え、自分の考えを的確にしながら読むこ とができる。 【*176.0% / 75.9%】

〈条件〉①疑問に思ったことの答えになる ように考えて書くこと。

②資料から<mark>言葉や文を取り上げて</mark> 書くこと。

③40 字以上、70 字以内にまとめ ▲ て書くこと。

> 無解答率は、 【2.1%/5.0%】 と低い数値である。



課題の見られた問題例

◆学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく 使うことができる。

「調査のたいしょう」→「対象」 【30.5%/41.9%】 「友達にかぎらず」→「限らず」 【65.4%/69.4%】 「かんしんをもつ」→「関心」 【21.7%/35.6%】

たいしょう=対象◎ 「対照」での間違い〈3.5%〉 「しょう」を「象」「照」以外の 解答で間違い 〈39.9%〉 かんしん=関心◎ 「感心」での間違い〈55.1%〉 「関」「感」「心」以外の漢字 解答で間違い〈17.6%〉

- ◆ことわざ「習うより慣れよ」の意味を理解して、<mark>自分の表現に用いる</mark>ことができる。 【66.0%/73.0%】
- ◆目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができる。 【25.8%/28.8%】 〈条件〉①調査内容と結果の(1)と(2) の両方から言葉や
 - 文を取り上げて書くこと。
 - ②【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと. ③書き出しの言葉に続けて40字以上、70字以内にまとめて書くこと。
- ◆文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができる。【40.5%/47.8%】

中学校

課題の見られた問題例

- ◆相手に分かりやすく伝わる表現について理解する ことができる。 【67.7%/69.7%】
- ◆話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができる。 【59.4%/60.4%】

〈条件〉①話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決



まっていないこと」とは 何かを<mark>明確に</mark>して書く こと。

②「どうするか決まって いないこと」を解決す <mark>る具体的な案</mark>を考えて 書くこと。

◆封筒の書き方を理解して書くことができる。 【58.2%/56.8%】

〈条件〉①封筒の書き方に注意して縦書きで 書くこと。

②投稿先は団体なので、「様」では なく「御中」と書くこと。

中学校 国語 話す·聞〈 書〈 読む 伝統文化等 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 ■加西市 ■全国

定着傾向が認められた項目・問題例

2 問とも 無解答率 0.0% 国語全体でも無

国語全体でも無 解答率は 1.8% と低い ◇文章の展開に即して情報を整理し、内容を 、捉えることができる。 【64.0%/61.5%】

◇文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことができる。

[98.0%/91.2%]



↑中学生新聞を読んで解答

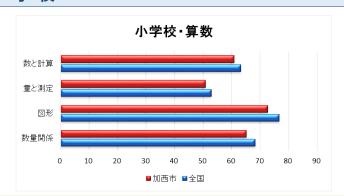
〈条件〉

①選んだ短歌の中の言葉を取り上 げて、想像できる情景や心情を 書くこと。

②①で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたこと を具体的に書くこと。



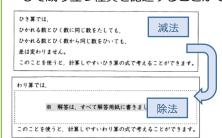
小 学 校



定着傾向が認められた項目・問題例

◇棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。 [96.5%/95.2%]

◇示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関 して成り立つ性質を記述することができる。



[30.2%/31.1%]

【問題】□の中に

「わられる数」

「わる数」「商」

の3つの言葉を使って 書きましょう。

課題の見られた問題例

◆資料の特徴や傾向を関連 付けて、一人当たりの水 の使用量の増減を判断し その理由を記述すること ができる。

[49.3%/52.1%]

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量につ 2010年で、2010年にが、3年にとい、14点にリロネの使用重しつ で、どのようなことがわかりますか。 下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その参号を書きましょう。 また、その参号を選んだわけを、グラフ2とグラフ3からわかること をもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 2 | 人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 |人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 | 人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

◆加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること ができる。 [52.2%/60.1%]

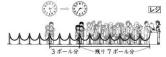
【かいとさんが考えた式】

 $6 + 0.5 \times 2 = \boxed{P}$

全体の 27.9%が 「13」と解答。

◆場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め 方と答えを記述し、その結果から判断することができ





〈問題〉3ポール分進むのに9分間かかる進みぐあいで 進むとすると、残り7ポール分進むのにかかる時間は何 分間ですか。求め方を言葉や式を使って書きましょう。 また、答えも書きましょう。 さらに、24 分間でレジにつ くことができるかどうか、番号を選びましょう。

中学校

定着傾向が認められた項目・問題例

◇事柄が成り立つ理由を説明することができる。

[60.5%/59.7%]

◇簡単な連立二元一次方程 式を解くことができる。

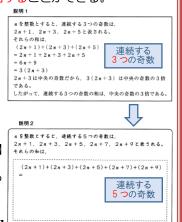
[74.1%/70.1%]

◇反比例の表から、xとy の関係を式で表すことが できる。

[53.6%/48.9%]

◇与えられた説明を振り返っ て考え、式変形の目的を 捉えることができる。

[64.0%/57.4%]



今年も…

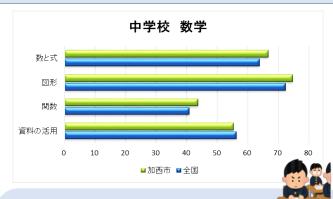
Ĕ

В

D E

С

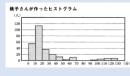
◇結論が成り立つための前提を考え、新 たな事柄を見いだし、説明することが **[53.6%/53.3%]** 〈問題〉正方形でない四角形で AF=CE になる四角形 ABCD を考えます。四 角形 ABCD がどんな四角形ならば AF=CE になりますか。「**~ならば、…** になる」という形で書きなさい。

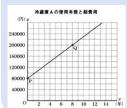


課題の見られた問題例

◆資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用い て説明することができる。 [34.9%/40.8%]

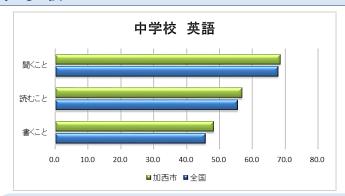
〈問題〉考えが適切でない理由を、ヒ トグラムの特徴をもとに説明 しなさい。





- ◇グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座 標の差を、事象に即して解釈すること ができる。 [38.3%/38.8%]
- ◇事象を数学的に解釈し、問題解決の方 法を数学的に説明することができる。 [39.2%/34.7%]

中学校



課題の見られた問題例

◆聞いて把握した内容について適切に応じることができる。

[5.8%/7.6%]

〈問題〉音声メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを 英語で簡潔に書きなさい。

◆書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話 の内容や書き手の意見などを捉えることができる。

[9.5%/10.9%]

◆与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりな どに注意して、まとまりのある文章を書くことができる。

[2.3%/1.8%]





〈問題〉 どちらかの案を選び、2つ の案に触れながら、あなたの考え を理由とともに25語以上の英語 で書きなさい。

定着傾向が認められた項目・問題例

◇日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることが できる。 [77.8%/72.3%]

A:This is a nice poster.

What's it for, Nanami?

B:It's for our school music festival

A:When is it?

B:It's on October thirteenth.



◇文の中で適切に接続語を用いることができる。

[63.4%/58.2%]

◇一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書く [79.3%/73.6%] ことができる。

〈解答例〉Do you like-

◇与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯 定文を正確に書くことができる。【43.2%/32.9%】



◇与えられた情報に基づいて 一般動詞の3人称単数現在 時制の否定文を正確に書く ことができる。

[45.5%/37.4%]

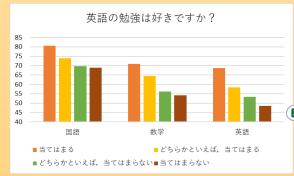


〈解答例〉①She is from Australia.

②She lives in Roma.

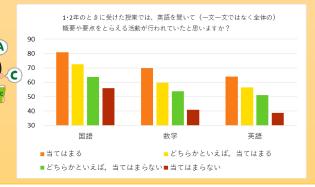
3She doesn't have any pets.

英語の学習と他教科との関係について



「英語の勉強は好きですか」という質問に、肯定的 に回答した生徒の方が、英語に限らず国語、数学に おいても、平均正答率が高い傾向が見られた。

「授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行 われていた」と感じている生徒の方が、すべての教科にお いて、平均正答率が高い傾向が見られた。



平成 28 年度→平成 31 年度の経年比較



国語・やや低い→同程度

数学・同程度→やや高い

【全国平均との比較】

国語A(知識)…やや低い

国語 B (活用) …同程度 算数 A (知識)…同程度

算数 B (活用) …同程度

中学校3年生(平成31年度) 80 75 やや高い やや高い 70 65 60 55 同程度 50 45 40 用語 数学 英語 ■全国 ■加西市

1~2 ポイント↑

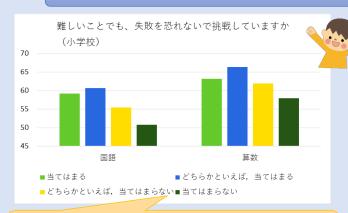
子どもたちの学力は、生活習慣や学習習慣が基盤となっています。加西っ子の生活習慣や学習習慣のうち経年比較から本年度改善傾向にある項目について取り上げています。また、加西っ子の「生活と学習」の関連で注目すべき質問について、取り上げています。

平成31年度 児童・生徒質問紙

; + \	 	(年度以降)による最低値	水舟 奴矢比跡に	トス早市店

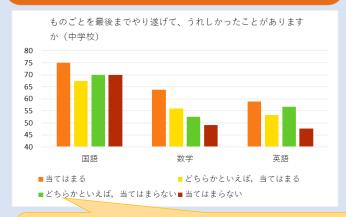
No	質問内容	小学校6年生				中学校3年生							
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26	H27	H28	H29	H30	H31
1	朝食を毎日食べている	97	98	96	96	95	94	94	93	96	96	92	95
2	将来の夢や目標を持っている	86	86	87	85	90	88	66	66	68	68	69	72
3	自分にはよいところがあると思う	77	72	76	80	90	86	60	58	70	73	81	76
4	先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか	73		85	88	89	87	62		75	82	81	80
5	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	72	74	73	73		84	62	62	53	70		66
6	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	96	96	92	95		96	94	94	93	95		94
7	国語の勉強は、好きですか	57	56	54	50		63	60	50	62	66		57
8	国語の勉強は大切だと思う	92	90	89	92		92	89	86	92	90		88
9	算数・数学の勉強は好きですか	63	65	65	64	61	65	49	55	52	55	57	59
10	算数・数学の勉強は大切だと思う	93	92	91	94	94	92	77	82	81	82	83	80
11	読書は好きですか	73	62	69	65		69	71	69	66	77		68
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97	96	97	95	97	98	95	95	95	93	98	95
13	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	58	58	59	57	75	75	33	38	41	41	46	39

自己肯定感、挑戦心、達成感等に関する状況

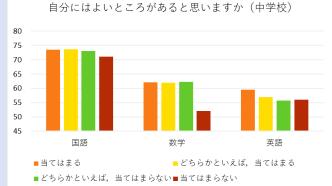


小学校において、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか」という質問に対して、肯定的に回答している児童の方が、平均正答率が高い傾向が見られた。

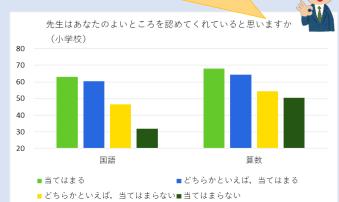
小学校においては、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦しているか」(挑戦心)、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるか」(達成感)ともに、平成26年度から6年間のデータの中で、肯定的に回答した児童の割合が最も高い数値であった。



中学校において、「自分にはよいところがあると思い ますか」という質問に肯定的に回答した生徒の方が、平 均正答率がやや高い傾向が見られた。



小学校において、「先生はあなたのよいところを 認めてくれていると思いますか」という質問に対 して、肯定的に回答をしている児童の方が、平均正 答率が高い傾向が見られた。



中学校においても、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった ことがありますか」という質問に対して、肯定的に回答している生徒 の方が、平均正答率が高い傾向が見られた。



加西市教育委員会学校教育課 加西っ子の学力・学習状況 URL



ICT を活用した学習状況について

ICT を活用した学習状況について、「月 1 回以上 ICT を活用して 授業に取り組んできた」と感じている児童生徒は、小学校では 70%、

授業でもっとコンピューターなどのICTを活用したいと思いますか (中学校)

70

65

60

55

50

■当てはまる
■どちらかといえば、当てはまるない
■当てはまらない

中学校では、33%であった。 それに対し、「ICT をもっと 活用して授業を受けたい」と 考えている児童生徒は、小学 校で 90%、中学校では 80% で意識の差がはっ きりと出る結果と

授業でもっとコンピューターなどのKTを活用したいと思いますか (小学校) 65 60 55 50 45 40 33 30 国語 解数 単当てはまる どちらかといえば、当てはまる

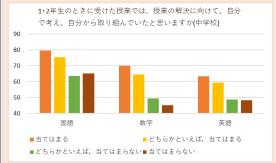
「授業でもっとコンピューターなどの ICT を活用したいと思いますか」という質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られた。

以上の結果から、調査の中で注目すべきは、

- ・前向きな気持ちと安定した学校生活
- •有用感や自尊感情の向上した児童生徒の増加
- •各教科における学習への主体的な姿勢の向上

です。これらは、子どもたちの学力の基盤となる力です。これらの力の深まりや広がりが成果として表れてきていることは、継続的に「基本的生活習慣」や「基礎・基本の学習」の定着が図れていることであり、来年度から完全実施される新学習指導要領にもつながる力であると言えます。今後も、家庭や地域の連携・協力を得ながら、各学校が工夫と特色ある教育活動を展開し、加西っ子のさらなる成長を進めていきます。

主体的・対話的で深い学びの視点



「1・2 年生のときに受けた授業では、<mark>課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた</mark>と思いますか」という質問に対して、肯定的に回答している生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られた。

学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように、子供の学びが進化します。新しい学習指導要領、スタート。
小 学 校:2020 年度~
中 学 校:2021 年度~
高等学校:2022 年度~

ままる力
学びに向かうカ、人間性など

**MON 大の歩う
学びに向かうカ、人間性など

**MON 大の歩う
対応できる
知識及び技能
思考カ,力など
表現力など

三つの力をバランスよく育みます。

※文部科学省 HP より

4 加西市の小・中学校における学力向上の取組について

加西市教育委員会では、子どもたちの学力向上について、各学校の特色ある取組をサポートしながら令和元年度(平成 31 年度)は 以下の取組を重点的に推進しています。

①学習支援システムの活用

・ICT機器を利用したデジタル教材やプリント教材の活用による学習の実施

②スクールサポーター事業の拡大

・スクールアシスタントやヤングアドバイザー等の学習の支援員の全校配置

③「かさいがんばりタイム」「かさい未来塾」の実施

- ・市内4中学校における放課後や長期休業中の補充学習の実施
- ・小学校での「かさいがんばりタイム」の実施
- 4 読書活動の活性化
- ・市内全小・中・特別支援学校における図書の新規購入
- ・市内小中学校全校への新聞購読費補助
- ・市立図書館による学校図書館コーディネート事業の実施
- ⑤家庭と連携した生活習慣・学習習慣の確立
- ・家庭でのしつけ「ね・ひ・め・つ・こ」 生活習慣「あ・い・う・え・お」、学習習慣「か・き・く・け・こ」の啓発

